



TOBA まち協 トピックス

2017年(平成29年)8月15日 第27号

笑顔つながる 鳥羽のまち
鳥羽まちづくり協議会
〒673-0018 明石市西明石北町2丁目2-1
鳥羽小学校区コミュニティ・センター内
TEL・FAX (078)928-3767
<http://matikyo2012.wix.com/home>

新会長挨拶

今回、鳥羽まちづくり協議会の会長に就任した田中です。岩佐前会長から引継ぎ、「笑顔つながる 鳥羽のまち」をスローガンに、地域相互の良い形で繋がるよう



に微力ながら貢献させて頂ければと思っております。まだ、44歳という若輩者でバリバリと仕事もしながらですが、諸先輩の意見も参考に、議論し合いながら新しいまちづくりの形を創造します。鳥羽のまちづくりでは地域に住んでいる皆さんに主役になって頂き、年齢や立場を問わず多くの方のご協力とご理解の程、これからよろしくお願ひいたします。

平成28年度 決算報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	摘要
収入の部	自治会負担金	300,000	317,400 北町 67,500、明南 61,050、小久保 45,150、鳥羽野々上 32,250、松の内 93,450、旭が丘 18,000
	県・市支出金	3,860,000	4,052,144 県自主防災 300,000、地域事務局 2,000,000、安全 500,000、地域づくり 600,000、保推協 20,000、敬老 300,000、防災 82,144、地域未来塾 230,000、ごみ減量 20,000
	寄付金	10,000	20,000 敬老会・ふるさとまつり御祝
	預金利息	1,000	38 利息
	繰越金	647,594	647,594
	雑収入	20,406	24,000 反省会負担金
	合計	4,839,000	5,061,176
支出の部	報酬・謝金	250,000	377,150 敬老会・鳥羽ふるさとまつり協力、校内パトロール、地域未来塾
	人件費	1,600,000	1,565,184 地域事務局人件費、所得税
	消耗品費	850,000	1,007,914 コピー用紙、プリンターインク、パワーポイント、LPガスコンロほか
	備品購入費	200,000	193,668 金庫、ハンドマイク、発電機ほか
	印刷費	500,000	355,359 アンケート集計、まち協トピックスほか
	通信費	100,000	71,662 ネット通信料
	使用料	200,000	2,000 駐車場使用料
	委託料	20,000	17,280 とんど夜間警備委託
	保険料	50,000	36,420 敬老会、安全マップ、防災訓練、ふるさとまつり
	手数料	20,000	12,420 パソコン・プリンター修理手数料
	食糧費	250,000	323,355 柏もち、お茶ほか
	交通費	50,000	43,000 県保健衛生大会、明石城どんとこいまつり、明石市保健衛生大会ほか
	負担金	80,000	77,266 視察研修、まちづくり懇親会、まち協連合校区会
	光熱費	30,000	162,449 冷・暖房費
	原材料費	40,000	162,449 ふるさとまつり・防災訓練食材(豚バラ肉、小豆、もち米ほか)
	修繕料	0	6,480 とばびー修繕
	予備費	599,000	0
	合計	4,839,000	4,299,727
収支の部	収入	支出	繰越額
	5,061,176	4,299,727	647,594

まちづくり計画書

鳥羽まちづくり協議会は設立から10年を迎え、次なるスタートを踏み出すために新しい未来計画をたてました。子どもから高齢者の方まで、多くの人が笑顔でつながり、助け合い、気軽に話し合えるまちづくりを目標として、スローガンは「笑顔つながる 鳥羽のまち」と決めました。



平成29年度定期総会

6月11日(日)10:00より、鳥羽小コミセン会議室において、鳥羽まちづくり協議会の平成29年度定期総会を開催しました。

当日の出席者・委任状含め70%で総会は成立しました。

藤本副会長の開会挨拶に始まり、岩佐会長挨拶・市の岩崎室長の来賓挨拶、来賓紹介の後に議長選出を行い、議案審議に入りました。議案第1号28年度事業報告・2号決算報告及び監査報告・3号規約の一部改正・4号平成29年度新役員選出と田中新会長の挨拶があり、議案5号まちづくり計画書(案)・6号で29年度事業計画(案)・7号で29年予算(案)と順次審議し全て承認されました。



今年度は会長が岩佐会長から田中新会長に交代し、新体制を敷くこととなりました。

平成29年度 予算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:円)

科目	本年度	前年度	摘要
収入の部	自治会負担金	300,000	300,000
	県・市支出金	4,112,000	3,860,000 地域事務局、地域づくり、安心安全補助金ほか
	寄付金	20,000	10,000 敬老会・ふるさとまつり御祝(地区社協・SC21鳥羽)
	預金利息	1,000	1,000
	雑収入	20,551	20,406
	繰越金	761,449	647,594
	合計	5,215,000	4,839,000
支出の部	報酬・謝金	380,000	250,000 校内パトロール、地域未来塾ほか
	人件費	1,600,000	1,600,000 地域事務局
	旅費	50,000	50,000 会議等出張旅費
	消耗品費	1,000,000	850,000 コピー用紙、インク代ほか
	食糧費	330,000	250,000 会議用お茶ほか
	印刷製本費	650,000	500,000 まちづくり計画書、まち協トピックスほか
	光熱水費	50,000	30,000 冷・暖房費
	通信運搬費	100,000	100,000 ネット通信料
	手数料	20,000	20,000 法被洗濯代
	保険料	50,000	50,000 防災訓練、ふるさとまつり、敬老会
	委託料	20,000	20,000 とんど夜間警備委託
	使用料・賃貸料	20,000	200,000 駐車場使用料ほか
	原材料費	160,000	40,000 ふるさとまつり・防災訓練食材(豚バラ肉、小豆、もち米ほか)
	備品購入費	200,000	200,000 担架、メガホンほか
	負担金	100,000	80,000 まちづくり協議会負担金ほか
	予備費	485,000	599,000
	合計	5,215,000	4,839,000

平成29年度新役員選出

役員名	氏名	団体名等
会長	田中 昌平	野々池中学校PTA 会長
副会長	岸本 高広	鳥羽野々上自治会 会長
副会長	山内 元治	明南町自治会 会長
副会長	山本 和雄	鳥羽小学校PTA 会長
理事	岩佐 肇	鳥羽野々上自治会 顧問
幹事	田中 秀夫	鳥羽小学校 校長
幹事	竹中 康訓	小久保1・3自治会 会長
幹事	谷野 孝雄	西明石北町自治会 副会長

鳥羽まちづくり規約一部改正

【役員】第14条

改正前	改正後
(1) 会長 1名	(1) 会長 1名
(2) 副会長 3名	(2) 副会長 3名
(3) 幹事 若干名	(3) 理事 若干名
(4) 会計監査 2名	(4) 幹事 若干名

【職務】第15条

改正前	改正後
(2)副会長は、会長を補佐しに事故あるとき又欠けたその職務を代理する。	(2)副会長は、会長を補佐しに事故あるとき又欠けたその職務を代理する。
(3)幹事は、会務に参画するとも、総会の議決事項を審議する。	(3)理事は、会務に参画するともに、対外交渉の補佐や様々な助言を行う。
	(4)幹事は、会務に参画するとも、総会の議決事項を審議する。

【会議】第18条

改正前	改正後
(1)まちづくりビジョン策定会議	(1)全体企画会議
(2)まちづくりビジョン策定部会（各種実行委員会を含む。）	(2)まちづくりビジョン策定チーム（各種実行委員会を含む。）
(3)プロジェクト会議	(3)プロジェクト会議
	(4)三役会

【策定(企画)会議の構成】第19条

改正前	改正後
まちづくりビジョン策定会議（以下「策定会議」という。）は、自治会、まちづくりビジョン策定部会（以下「部会」という。）及びプロジェクト会議の代表者をもって構成する。	全体企画会議（以下「企画会議」という。）は、まちづくり協議会が開催に係る企画に関係する自治会、まちづくりビジョン策定チーム（以下「チーム」という。）及びプロジェクト会議の代表者をもって構成する。全体企画会議の開催については、三役会で決め、会長及び副会長が必要と判断した時に開催できるものとする。

【三役会】追加(第24条と第25条の間)

追加内容
三役会は会長・副会長・事務局長の三役によって行われる。三役会は三ヶ月に一回開催し、次の三ヶ月の予定の確認及び実施事項の決定を行う。また、別途必要と判断し場合、会長・副会長が招集できるものとする。

【事務局長】第27条

改正前	改正後
3 事務局長は、協議会の事務を掌理するともに、鳥羽小学校区コミュニティ・センター及び他団体 等との連絡調整を行う。	3 事務局長は、協議会の事務を掌理するともに、協議会の会計処理を行い、鳥羽小学校区コミュニティ・センター 及び他団体 等との連絡調整を行う。

【会計監査】追加(第32条と第33条の間)

追加内容
会計監査は、決算の状況を審査し、総会にその結果を報告する。会計監査は委員の中から2名を選任する。

わくわく地域未来塾卒業式

平成28年9月24日に始まりました「わくわく地域未来塾」も3月11日に卒業式を迎えました。塾生は11名で、皆勤賞こそなかったもののみんな最後まで頑張りました。授業は、先生方が色々な工夫をしてくださり、一つずつ理解をしながらドリルに取り組んでいました。勉強をする習慣や、集中力は養えたはずです。

卒業証書として、全員の集合写真と、子どもたちには先生方からの励ましの言葉、先生方には子どもたちからの感謝の言葉を添えた額を、まち協から贈呈しました。

来年度も継続していきます、先生方も皆さんそう仰っています、嬉しい事です。



ホームページも、割合時々更新して
いますのでみてくださいね。
<http://matikyo2012.wix.com>
または、鳥羽まちづくり協議会で検索してください。

平成29年度 事業計画

「あなたの暮らし見守り隊」～あいさつから始まる明るいふるさとに～

- 1.防災訓練の実施(安否確認の訓練等も充実させる)
- 2.自治会等自主防災組織の諸活動に対する支援
(不良資機材は順次補充する)
- 3.スクールガード等校区防犯パトロールの実施
(下校時対策を検討する)
- 4.自治会、子ども会等への不審者対策等の情報提供
- 5.安全な地域環境づくりの推進
(地区懇談会、地域安全点検の意見を参考に)
- 6.安全なまちづくり講習会の開催
(自転車安全運転・AED 講習会・レスキュー講習会開催)
- 7.校区地域安全マップ作成支援
- 8.地域の安全に関する各種普及啓発活動の実施
- 9.防犯カメラの設置推進

「元気を届ける応援団」～体を動かし、おいしく食べよう～

- 1.健康づくりの推進計画
・とば元気じるし健診の開催(10月)
・とば元気じるし健診結果説明会(11月～12月)
・わくわく♪元気っ子料理教室(7月)
- 2.健康意識の向上と普及
・健康体操(6月)
・鳥羽ふれあいスポーツフェスティバル(10月)
- 3.健康体操についての案内 明石市健康推進課 河内氏

「だれもが話せる身近な相談役」～世代を超えた思いやり、助け合い～

- 1.敬老会開催(9月 体育館)
- 2.小鳥の会の活動支援
- 3.防災訓練(要配慮者重点支援)
- 4.福祉情報ネットワークの構築
- 5.地域ケアの実施(高齢者・障害者・子どもたち)
- 6.障害者・要配慮者の防災マップ作製

「のびのび子育てサポートー」～子どもと歩む未来のまちづくり～

- 1.第10回鳥羽ふるさとまつりの開催(1月13日予定)
- 2.ふれあいスポーツフェスティバル支援(11月中旬予定)
- 3.飛び出し坊や「とばぴー」タイプ設置予定(夏休み)
- 4.鳥羽あんぜんまもり隊協力(6月19日 13:30～15:30)
- 5.「とばっ子の花畠」開設(4月から5月にかけて実施済)
- 6.「わくわく地域未来塾」開校予定(9月～3月)
- 7.インターネット学習会の実施(3月)
- 8.その他
・七夕の笹提供
・挨拶運動
・野々池中学トライやる受入れ(6月6日～6月10日)

「住みよいまちへの案内役」～きれいなまち、緑に囲まれたまちに～

- 1.ポスター展の開催
「ごみをつくるない、増やさない、捨てない」運動の推進
- 2.ペットボトルキャップの収集、ペットボトルの再資源化推進
- 3.校区内「ごみ拾い大会」の実施検討
- 4.ごみ減量推進協力員研修会の実施
- 5.小学校環境体験学習支援と、とばっ子ガーデン「キキ」の管理支援
- 6.幼稚園園庭芝生の管理支援

「みんなをつなぐ情報配達人」～知らない人にわかりやすく早く伝わるように～

- 1.WEBサイトの新規構築。既存のサイトやサービスを流用しつつ行う。
(若者対応)
- 2.Twitter 及び Line の SNS 活用を検討
- 3.「とばぴー」を活用して身近に
- 4.紙媒体の情報誌を作成。広告などを掲載することで費用も削減(回観版等)
- 5.とにかく知つてもらうことを第一に考える

「正確、且つ公平な事務スタッフ」～見やすくオープンな事務を～

- | | | |
|-----------------|-----------------------|------------|
| 1.企画・調整 | 2.庶務 | 3.会計 |
| ・アンケート集計 | ・総会等の開催及び、
関係書類の作成 | ・予算及び決算業務 |
| ・事業の総合調整 | ・規約等の管理に関
する | ・金銭及び物品の出納 |
| ・外部団体との連絡
調整 | | ・各種補助金の処理 |

トライやるウィーク

今年は6月6日から10日まで、野々中トライやるウィークを受入れました。活動内容は、鳥羽の町の成り立ちを調べ、今後こんなまちをつくりたいという希望を纏めてもらいました。

鳥羽に人々が住めるようになった源は、なんといっても林崎掘削が完成し、水の確保ができるようになって、米作が出来るようになったからです。

始めに、明石溜池研究会代表の森本

眞一先生に「林崎掘削について」を、教えてもらいました。

その後、雨が降っていましたが現地調査に出かけました。小学校の校庭では「レベル測量」の方法も学びました。

最後に、「鳥羽をこんなまちにしたい」という点を纏めて発表しました。

